人命の安全と環境の保全

RIME

Research Institute of Marine Engineering

国際的な第三者試験機関

一般社団法人 日本船舶品質管理協会

製品安全評価センター

はじめに

製品安全評価センター（英略称　RIME）は、船舶の艤装品、船用品の開発に必要な試験、研究を行うことにより、海上における人命の安全、海洋環境の保全等に貢献することを目的として、国土交通省のご指導と、（公財）日本財団のご支援を受けて、昭和47年に設立されました。

厳しい国際競争の中にある海事産業にあって、艤装品、船用品においてもたゆまぬ技術革新が必要とされています。当センターは各種試験設備と経験豊富な研究者を擁して、艤装品、船用品の開発において必要とされる様々な試験を提供することで、これら製品の開発、改善に貢献することを目指しています。

当センターは、国土交通省からSOLAS条約のFTPコードに合致するわが国唯一の試験所として認定されているほか、（公財）日本適合性認定協会からISO/IEC17025（試験所及び校正機関の能力に関する一般要求事項）に適合した試験所と認定されるなど、試験品質には高い信頼をいただいております。

今後とも国際的な第三者試験機関として、試験依頼者のご満足と信頼を得るべく努力してまいります。

製品安全評価センター（RIME）

沿　革

昭和47年11月
「船舶艤装品試験所」として設立
翌年「船舶艤装品研究所」と改称

平成10年3月
標準火災試験炉が完成

平成10年12月
国土交通省より海上人命安全条約（SOLAS）の火災試験方法の適用に関する国際コード（FTPコード）に適合する試験機関として認定される

平成15年11月
（公財）日本適合性認定協会（JAB）より、「海上人命安全条約（SOLAS）のFTPコードに係る火災試験」について、ISO/IEC17025に合致する試験所として認定される

平成17年4月
「製品安全評価センター」に改称

平成25年1月
NIPPON KAIJI KYOKAI(Netherlands) BV（CLASS NKのオランダ法人）から、MED（欧州舶用機器指令）の定める試験が実施できる試験所として認定される

平成25年3月
EMC（電磁両立性）試験について、ISO/IEC17025に合致する試験所として認定される

平成27年11月
温湿度環境試験、振動試験について、ISO/IEC 17025に合致する試験所として認定される

公的機関から認定

■ 国土交通省
SOLAS条約の火災試験方法の適用に関する国際コード（FTPコード）の定める試験機関
型式承認物件等に係る試験において試験データの活用ができる試験機関

■ （公財）日本適合性認定協会（JAB）
ISO/IEC17025(試験所及び校正機関の能力に関する一般要求事項)に合致する試験機関

ilac-MRA　LAB JAB Testing RTL01410

認定範囲
●火災試験（SOLAS 条約 附属FTPコード）
●EMC（電磁両立性）試験
（IEC/EN 60945、IEC/EN 61000-4-2~6）
●低温試験、高温試験、温湿度サイクル試験
（IEC/EN 60945、IEC 60068-2-1~2、IEC 60068-2-30、JIS F 0812、IACS統一規則）
●正弦波振動試験
（IEC/EN 60945、IEC 60068-2-6、JIS F 0812、IACS統一規則、各船級協会試験規則）

（　）内は主な認定試験規格。詳細はホームページでご確認ください。

■ Nippon Kaiji Kyokai(Netherlands)BV
MED（欧州舶用機器指令）の定める試験が実施できる試験機関

試験の種類

法令に基づく型式承認試験や、IMO規則、各国船級協会規則、JIS･ISO･IEC･ASTM等の各種試験規格に基づいて、様々な試験を実施しています。

型式承認試験
船舶安全法、海洋汚染防止法等に基づく救命器具、消防設備、防火材料、船灯などの船用品の型式承認に必要な試験

環境試験
温湿度試験、低温試験、塩水噴霧試験、促進耐候性試験（キセノンウェザーメーター）

振動･衝撃試験
使用環境振動試験、輸送振動試験、耐震振動試験、衝撃試験、動揺試験

火災安全試験
SOLAS条約のFTPコード試験、標準火災試験、防火材料試験、消火装置試験

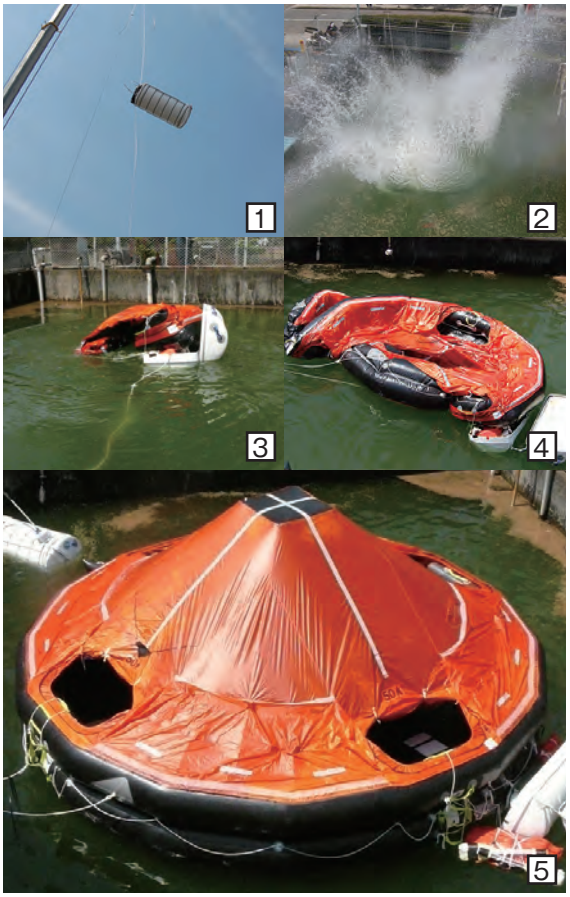
輸送容器試験
国連(UN)勧告等に基づく危険物容器試験(小型容器、IBC容器)、フレキシブルコンテナ試験

IP(電気器具の外被の保護性能)試験
防水性能試験、防塵性能試験

電気器具の防爆試験
耐圧防爆試験(爆発強度試験、爆発引火試験)、本質安全防爆試験

EMC(電磁両立性)試験
各種イミュニティ試験、エミッション試験

その他
プラスチック容器の薬品に対する影響評価試験、GMDSS機器の性能試験、光学試験、音響試験、その他



救命イカダの25m落下試験（落下試験水槽）

防火窓のFTPコードPart3標準火災試験
（火災試験棟:標準火災試験装置）

センターの利用方法

依頼試験

製品、その見本、試験片等について、依頼者から提示された試験仕様書に基づき、当センターの職員が必要な試験施設を用いて試験を行います。試験後、第三者試験機関としての「試験成績書(和文、英文)」を発行します。またご希望により「試験実施証明書」を発行します。
試験成績書を提出される相手先(旗国、船級など)を考慮して、どのような成績書(報告書)を作成したらよいか、ご相談にも応じています。

施設利用試験

皆様が当センターの試験施設をご使用になり、ご自身で試験を行う方法です。当センターの職員は、試験に際し、施設の操作等についてご説明するほか、ご要望により試験の支援作業を行います。また、ご希望により「施設利用証明書」を発行します。

試験のお申込み

試験のお申込みには、当センター所定の様式をご利用ください。ホームページからダウンロードできます。
またご希望があれば、試験費用の「見積書」を発行します。

フレキシブルコンテナの繰返し頂部つり上げ試験
（FIBCs試験装置）

救命胴衣の水中浮遊姿勢試験（浮遊試験水槽）

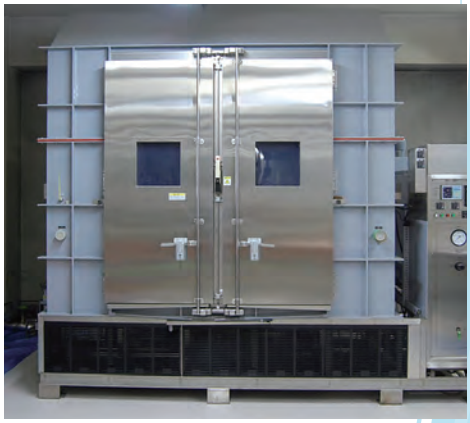
イマーションスーツの保温性試験（恒温恒湿室）

EMC試験（電波暗室）

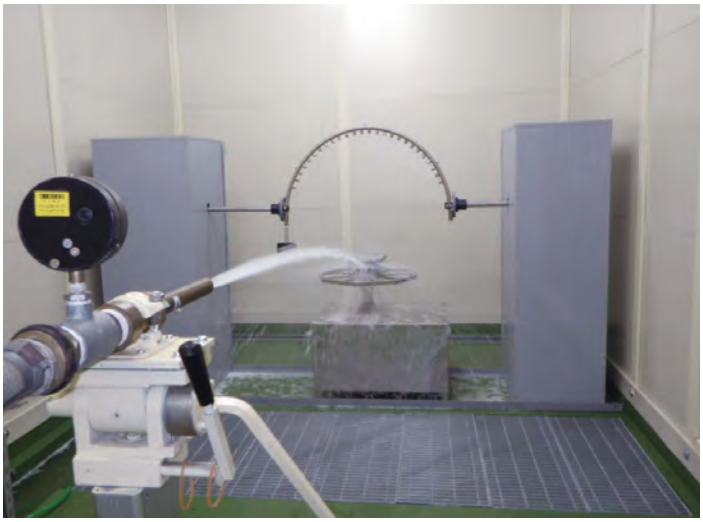
試験施設

主要試験施設の利用状況は、ホームページからご確認することができます。

環境試験室（左からキセノンウェザーメーター、恒温恒湿槽、恒温恒湿室）



大型塩水噴霧試験機



防水試験室（IP試験）

防塵試験室（IP試験）

振動試験室

防爆試験室

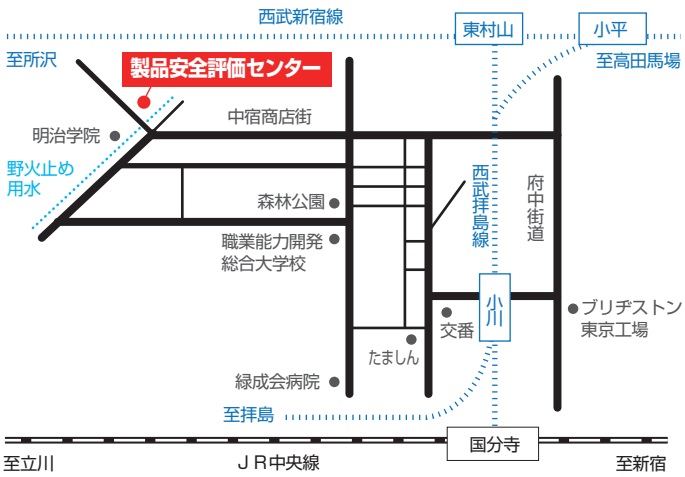
RIME
Research Institute of Marine Engineering

一般社団法人 日本船舶品質管理協会

製品安全評価センター

〒189-0024 東京都東村山市富士見町 1-5-12

TEL. 042-400-3000（代　　表）
042-400-3001（振動試験直通）
042-400-3002（輸送容器試験直通）
042-400-3003（IP 試験直通）
FAX. 042-400-3020
E-mail center-info@rime.jp　　http://www.rime.jp



当センターへの交通機関

ＪＲ中央線、国分寺駅乗り換え
西武国分寺線「小川駅」下車、西口徒歩８分

ＪＲ山手線または東京メトロ、高田馬場駅乗り換え
西武新宿線 経由、拝島線「小川駅」下車、西口徒歩８分

2016.11